めいわ 議会だより

2026
No.110
令和８年
２月10日発刊

群馬県邑楽郡明和町議会
https://www.town.meiwa.gunma.jp/

「いま、輝く」

contents

P2 第４回定例会
P3 一般質問
やさしい町づくりのために
４人の議員が町政を問う
P5 常任委員会所管事務調査報告
P6 第１回臨時会
P7 追跡調査・意見交換会
P9 議会モニター
P10 きらり！スポーツ少年団

二次元コードを読み込むと、議会ホームページが開けます

第4回 定例会

会期 12/3~4

令和７年第４回明和町議会定例会は、12月３日に招集され、４日までの２日間の会期で開かれました。

この定例会には、町長から報告２件、条例改正、補正予算など議案13件が提出され、慎重に審議した結果、すべて原案のとおり可決しました。

また、４人の議員から一般質問が出され、活発な議論を展開して町当局の所信をただしました。

第４回定例会　12／３～４　提出議案と審議結果

議案	件名	審議結果	主な内容
報告第7号	令和7年度明和町土地開発公社予算（補正第2号）の報告	－	
報告第8号	令和7年度明和町土地開発公社予算（補正第3号）の報告	－	
議案第54号	専決処分の承認（明和町手数料条例の一部を改正する条例の一部改正）	全会一致	租税公課及び資産に関する証明の手数料改正について、地方公共団体情報システムの標準化が延期になったため、施行日を「令和7年11月4日」から「地方公共団体情報システムの標準化の日」に変更するもの。
議案第55号	専決処分の承認（令和7年度明和町一般会計補正予算（第4号））	全会一致	老人福祉センターの空調設備故障による施設改修工事費341万円を追加し、補正後の予算総額を94億2,897万1,000円とするもの。
議案第56号	群馬県市町村公平委員会共同設置規約の変更に関する協議	全会一致	令和8年4月1日から「太田市外三町広域清掃組合」が「太田市外三町清掃斎場組合」に名称変更すること及び群馬県市町村公平委員会を共同設置する団体にみどり市が加入することに伴い、規約の一部を改正するため議会の議決を求めるもの。
議案第57号	群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議	全会一致	令和8年4月1日から「太田市外三町広域清掃組合」が「太田市外三町清掃斎場組合」に名称変更すること及び群馬県市町村総合事務組合における災害弔慰金の支給等に関する事務の共同処理を令和8年3月31日をもって取りやめることに伴い、規約の一部を改正するため議会の議決を求めるもの。
議案第58号	群馬県市町村総合事務組合の災害弔慰金の支給等に関する事務に係る共同処理の取り止めに伴う財産処分に関する協議	全会一致	災害弔慰金の支給等に関する事務の共同処理を取りやめることに伴い、群馬県市町村総合事務組合自然災害救助基金の財産処分について議会の議決を求めるもの。

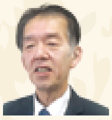
議　案	件　　名	審議結果	主　な　内　容
議案 第 59 号	明和町職員の給与に関する条例等の一部改正	全会一致	人事院勧告に基づき通勤手当、期末手当等を引き上げる改正をするもの。
議案 第 60 号	明和町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	全会一致	児童福祉法改正により、保育士不足解消を目的に、都道府県が独自の試験を行い合格した地域のみで就労が可能な「地域限定保育士」制度が創設されたこと及び施設等の職員による虐待に関する通報義務等が創設されたことに伴い改正するもの。
議案 第 61 号	指定管理者の指定（東部学童保育所）	全会一致	東部学童保育所の管理運営を任せる指定管理者として、指定管理者選定委員会が選定した候補者の指定を議会に求めるもの。
議案 第 62 号	指定管理者の指定（西部学童保育所）	全会一致	西部学童保育所の管理運営を任せる指定管理者として、指定管理者選定委員会が選定した候補者の指定を議会に求めるもの。
P4で PICK UP! 議案 第 63 号	令和7年度明和町一般会計補正予算（第5号）	全会一致	婚活事業等シティプロモーション事業 205 万円、財政調整基金積立 18 億 2,596 万 2,000 円、障害者福祉費 3,606 万 2,000 円、ふれあいセンター食堂事業等地域ネットワーク施設費 356 万 7,000 円、道路新設改良費 2,600 万円、J アラート設備更新による災害対策施設費 770 万円ほか人事院勧告に伴う人件費などを含め合計 19 億 7,738 万 6,000 円を追加し、補正後の予算総額を 114 億 635 万 7,000 円とするもの。
議案 第 64 号	令和7年度明和町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	全会一致	給与改定等に伴う人件費 9 万 1,000 円を追加し、補正後の予算総額を 13 億 6,579 万 7,000 円とするもの。
議案 第 65 号	令和7年度明和町介護保険特別会計補正予算（第2号）	全会一致	人事異動等に伴う人件費等 1,329 万 4,000 円、介護保険システム改修委託料 53 万 9,000 円、合計 1,383 万 3,000 円を追加し、補正後の予算総額を 10 億 2,425 万 3,000 円とするもの。
議案 第 66 号	令和7年度明和町公共下水道事業会計補正予算（第2号）	全会一致	人事異動等に伴う営業費用 7 万 8,000 円を減額し、補正後の収益的支出の総額を 3 億 9,245 万 7,000 円とするもの。

やさしい町づくりのために　Q 町政を問う…A

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって事務の執行状況や将来に対する方針等について、報告や説明を求めたり、疑問点をただすものです。

12 月定例会では、４人の議員から８項目について一般質問が行われました。

詳しい内容は､各議員の二次元コードから議会中継（録画）をご覧ください。また、会議録は後日明和町議会ホームページから見ることができます。

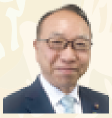


齋藤　一夫 議員

・ゴミの減量化について
・物価高騰対策について

栗原　孝夫 議員

・猫問題について



奥澤　貞雄 議員

・住宅建設事業について
・地域交流広場等整備事業について
・保護者負担軽減策について

眞塩　香奈子 議員

・こども園の現状について
・児童の厳しい夏の通学について

PICK UP! 主な質疑

その他の質疑はこちらから➡
（質疑は42分ころ）

歳入歳出予算の総額　100億円突破!!

議案第63号　令和７年度明和町一般会計補正予算（第５号）

12月定例会では、歳入歳出予算の補正がおこなわれ、それぞれ19億7,738万6,000円追加し歳入歳出予算の総額が114億635万7,000円となりました。また、一般会計補正予算では活発な議案質疑がありました。

Jアラート設備更新業務委託

質問 **設備更新の内容と費用は。**

総務課長 弾道ミサイル情報、緊急地震速報などをすぐに受け取る新しい受信機と、夜間や職員がいない時でも自動で防災行政無線放送を始める装置を更新します。費用は受信機が１７６万円、自動放送装置が４５１万円、設置調整作業費に１４３万円、合計７７０万円です。

質問 **更新後の耐用年数は、また保守管理の方法は。**

総務課長 受信機は平均して６．８年以上安定して使える性能があり、自動放送装置の耐用年数は７年です。いずれも導入後１年間の無償保証があり、その後は導入業者が点検や保守を行います。

防災行政無線

ふれあいセンター事業

質問 **事業の目的と運営方針は。**

健康こども課長 高齢者の皆さんが安心して集い、地域の方々と交流できる場を作ることを目的として、東西ふれあいセンターで高齢者向けの食堂を運営するものです。衛生管理に十分配慮し栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、食事を通じて人と人がつながり、健康づくりにつながる場となることを目指します。１月から試験的に開始し、実施回数を徐々に増やして４月からの本格実施を目指します。

スズカケ食堂オープン

婚活事業

質問 **事業の内容と継続の予定は。**

政策室長 出会いのきっかけ作りと移住・定住を目的とした婚活イベントです。参加対象は男性は町内在住または町内在勤の方、女性は町内外から広く募集します。当日は町内施設で一緒に調理・食事をしながら交流を深め、マッチングにつなげていきます。この事業は指定寄附金を活用した単発の取り組みであり、現時点では来年度以降の実施は予定していません。

ご縁を結ぶ

その他の質疑

- 日帰りドック、受診者増加の理由は。
- 法人町民税、追加の補正額が一番多い法人は追加額の何％を占めているのか。
- 障がい者基幹相談支援センターを新たに設置する経緯は。
- 債務負担行為、都市建設課所管事業でおこなう補正の根拠は。
- 公共事業の平準化の具体的内容とその効果は。

常任委員会所管事務調査

２つの常任委員会は、各委員と事務局出席のもと、所管に関わる事務調査を実施しました。
各担当課長・室長から令和７年度事業の進捗状況と令和８年度の事業概要について説明を受け、町内の事業の実施状況等現地調査を行いました。

（◎委員長　○副委員長）

総務・産業常任委員会

◎荒井信行　○島田宏幸　栗原孝夫　本澤春江　齋藤一夫　坂上祐次

◆期日　11月26日（水）／12月３日（水）

◆現地調査箇所
・下江黒土地改良事業状況（産業振興課）
・町道１－262号線（上江黒地区）道路整備状況（都市建設課）

下江黒地区土地改良事業では、県営農地中間管理機構関連農地整備事業として24.2haの基盤整備が行われ、農作業の効率化や担い手確保につながっている状況を確認しました。企業参入により担い手は１戸から10経営体へと増加しており、委員からは今後の展開や利用料のあり方について意見が出されました。町道１－262号線（上江黒地区）では、企業誘致中心の幹線道路とは異なる生活道路としての役割を確認し、安全性や地域住民の利便性向上の効果について現地で調査しました。

下江黒土地改良事業の状況

町道１－262号線

文教・厚生常任委員会

◎小野光枝　○眞塩香奈子　堀口正敏　三浦次弘　藤野一也　奥澤貞雄

◆期日　11月27日（木）／12月３日（水）

◆現地調査箇所
・明和中学校ＩＣＴ教育の状況（学校教育課）

ＧＩＧＡスクール構想により小中学校では１人１台の端末が整備され、ＩＣＴを活用した学びが進められています。しかし現場では端末の起動が遅い、ネットワークに接続できないなどのトラブルが発生し、授業が滞る状況が生じています。このような状態ではＩＣＴ導入本来の目的である学びの質の向上が実現できず、学習機会の損失につながる恐れもあります。町では現在ネットワーク環境の改善を進めていますが、今後はトラブル発生時の対応を仕組み化して教員の負担を軽減するとともに、生徒が安心してタブレットを活用できる環境整備が求められます。

機器のトラブルには教員が対応している

ＩＣＴを使った授業の様子

所管事務調査

第1回 臨時会 1/9

提出議案と審議結果

令和８年第１回明和町議会臨時会は１月９日に招集され、会期１日で開かれました。この臨時会には補正予算について議案１件が提出され、慎重に審議した結果、原案のとおり可決しました。

議　案	件　　名	審議結果	主　な　内　容
議案第1号	令和7年度明和町一般会計補正予算（第6号）	全会一致	明和町生活応援商品券事業1億3,500万円、物価高対応子育て応援手当支給事業3,350万円、合計1億6,850万円を追加し、補正後の予算総額を115億7,485万7,000円とするもの。

PICK UP! 主な質疑

その他の質疑はこちらから➡

明和町独自、全町民に１万円分の商品券

国の補助金に町単独の予算を加え、町民全員に１万円分の町生活応援商品券を配布。住民税非課税世帯と均等割のみ課税世帯には1人あたり１万円分が追加されます。

質問 **商品券の町民への配布にあたり、事務作業、経費負担は。**

産業振興課長 事務作業は宛名の作成、封入、発送など短時間に集中するため、庁内応援体制を組み３日間で終えます。経費は、印刷費、発送費、事務委託料を合わせて８００万円程度です。

質問 **プレミアム付商品券でなく、全町民に商品券を配布する理由は。**

産業振興課長 すべての町民が公平に支援を受けられ、住民一人ひとりに確実に還元するため生活応援商品券としました。商品券は、各世帯に町から直接交付されます。町内利用限定のため、町民生活の支援と町内事業者への経済効果も期待できます。

質問 **生活応援商品券取扱店は、増えているのか。**

産業振興課長 新たにＴＨＥ Ｒ９ ＤＩＮＩＮＧ やツルヤ明和店などが加わり、67店舗になりました。

その他の質疑　・住民税非課税世帯数は。

町民の声

本事業について町の声を聞いてみました。

食べ盛りの子どもが３人いるので、食費に当てたいと思います。とてもありがたい生活応援商品券です。

金子真奈さんと子どもたち（中谷）

追跡調査

議員の質問・提言に、町はどのように対応したのでしょうか。あの時の答弁がその後どうなったのかを調査しました。

■令和６年６月定例会
三浦 次弘 議員　一般質問

質問 こども園、東西小学校、中学校は大勢の園児や生徒が在籍する。ＡＥＤの複数台の設置はできないか。

↓

回答 地域住民に一般開放されている小中学校の体育館にはＡＥＤが設置されていないため、こども園も含め設置を前向きに検討します。／学校教育課長

↓

令和７年12月に西小学校体育館、中学校体育館に先行してＡＥＤが設置されました。

明和西小体育館

明和中体育館

商工生モニターと意見交換

今回は議会に傍聴や広報モニターとして参加している館林商工生のもとに広報委員が出向き、交流会を行いました。現在の議会だよりについて高校生は堅いイメージを払拭するような記事の掲載を求めていることや、依頼している定例会の案内ポスター作成への強い思いを語ってくれました。日頃顔を合わせてはいるものの、ここまで距離を縮めて話せる機会は今までになく、若い世代が期待している議員としての責任を感じ、立場や振る舞いを通して彼らに何が届いていたのか考えさせられました。今後はこのような世代との交流を増やし、町政に興味関心を深めてもらいながら移住定住への手がかりを探し、将来一緒に明和町を支える力となってもらえることが大事なのでは、と感じました。

意見交換会の様子

商工生が作成したポスター

11/5

群馬県町村議会議員研修

議会のデジタル化と課題

11月5日、玉村町文化センターにおいて群馬県町村議会議員研修が開催され、本町議会からも議員が参加しました。

はじめに、明治大学専門職大学院ガバナンス研究科の湯淺墾道教授を講師に「地方議会のデジタル化の意義と課題」をテーマに講演が行われました。湯淺教授は、地方議会が地域社会の意思を反映する重要な機関であることを再確認したうえで、近年進むデジタル化の経緯や現状について説明されました。特に、AIの利活用やSNSを通じた情報発信の可能性とともに、個人情報保護やサイバーセキュリティへの対応の重要性を強調されました。また、災害時にこそデジタル技術を活用した迅速な情報共有が求められるとし、議会としての備えの必要性を訴えられました。

第2部講演では、政治ジャーナリストの細川隆三氏が「時局展望」と題して、総裁選挙や日米首脳会談など最近の政治動向について、報道の裏側を交えながら語りました。

今回の研修を通じ、議会におけるデジタル化の意義と課題を改めて認識し、今後の議会運営に活かしていきたいと感じました。

11/20

町村議会広報研究会

もっと身近な議会だよりへ

11月20日、前橋市町村会館で「議会広報研究会」が開催されました。研究会では、議会広報サポーターの吉野政明氏を講師に、千代田町、下仁田町など5町村の議会広報紙を例にあげ、良い点や改善点について意見交換しました。例えば、ある議会だよりに講師から「広報紙の字体は明朝体やゴシック体が一般的ですが、教科書体を採用した理由は。」という問いに、「住民アンケートで、教科書体が最も読みやすいという結果を採用しました。」という回答がありました。読む人の視点を大切にした広報づくりが特に印象に残りました。また見出しは15文字以内が分かりやすいこと、写真はインタビューしている人の後方から撮ると、インタビューされている人の表情や雰囲気が伝わりやすいことなど、早速紙面づくりに活かそうと思いました。

これからも皆様に伝わりやすい議会だよりを目指します。

12/22

邑楽郡町議会議員研修会

議会活動におけるＩＣＴ化・デジタル化の推進

12月22日、板倉町役場において邑楽郡町議会議員研修会が開催されました。研修会では茨城県取手市役所総務部情報管理課長の岩﨑弘宜氏を講師に迎え、「議会活動におけるＩＣＴ化・デジタル化の推進」をテーマに講演が行われました。講演では、日常業務の効率化に加え、有事に備えたオンライン活用の重要性について、取手市の具体的な取り組み事例を通して分かりやすく説明がありました。特にオンライン会議やデジタルによる情報共有体制の整備が議会活動の継続性確保や迅速な意思決定につながる点が示され、参加者の理解を深めました。本研修を通じ、今後の議会活動においてＩＣＴ化・デジタル化を計画的かつ着実に進めていく必要性を改めて認識する有意義な機会となりました。本研修で得られた知見を今後にしっかりと生かし、より開かれた強靭で持続可能な議会活動に取り組んでいきます。

館林商工生のコーナー

若者の投票率について考える

前号に引き続き、選挙について考える第２弾。今号では、「若者の投票率の向上」について、議会モニターのメンバーで議論をしました。

Question：若者の投票率を上げるにはどうしたら良いか？

〇「投票の流れ」を学ぶマンガの作成…学校の授業等で、投票方法を具体的に学ぶ機会があまりないことから、若者が好きなマンガを通じて投票の流れを事前に学び、投票を円滑に行うことができる。

〇選挙のイメージキャラクターの制作…幅広い年代層に選挙を身近に感じてもらうため、全町民に対して広く募集をする。

〇Instagramの開設…「電子書籍を読む若者が多い」ことから、議会だよりや議員の活動の様子を積極的に発信することで、議会だけではなく、政治全般に対する興味や関心が増すと考える。

〇高校での期日前投票所の設置…選挙当日に検定試験や部活動等の予定が入ってしまい、投票に行けない生徒に対して、一日限定でも高校で投票できれば、貴重な一票を無駄にしないで済む。他校の生徒も受け入れ可とする。

〇投票証明書のクーポン化…既に他の自治体で実施しているところもあるが、投票後に希望者に対して投票証明書を交付し、地元の店舗で一度のみ割引券として利用できるようにする。協力店舗の選定には、産業振興課などの協力が不可欠となる。

明和町の年齢別人口

令和７年１１月末現在

	男性	女性	計
10代未満	330	302	632
10代	493	448	941
20代	533	451	984
30代	579	509	1,088
40代	706	637	1,343
50代	786	735	1,521
60代	674	702	1,376
70代	859	860	1,719
80代	340	484	824
90代	60	158	218
100代	1	8	9
合計	5,361	5,294	10,655

年齢別人口統計調査結果より作成

※全体に占める若者の割合は約28.3%

今後もこの話題については、高校生の視点で自由な議論を続けていく予定です。

きらり！スポーツ少年団

【団体名】

明和ジュニアスイミングクラブ

【活動内容】

　当クラブ（略称ＭＪＳＣ）は2001年に創立され、競泳４種目の習得と近隣大会への出場を目指し、Ｂ＆Ｇ海洋センタープールを拠点に毎週土曜日16時から練習を行っています。年中から中学生までが対象です。

【指導者から一言】

　学校体育で水泳の授業が座学になる傾向にありますが、体得しないといざという時には役に立ちません。上級になればボールゲームも指導します。６年時には10分間で400ｍを泳ぎ切ることが目標です。

【キャプテンから一言】

　ＭＪＳＣはプールを広く利用して泳ぐことができ、練習の最後にはビッグビート板やフィンを使っての自由活動もあり、毎週楽しいです。泳力に応じた指導なので、仲間と一緒に早く上級クラスに行きたいです。

【団体名】

めいわジュニア陸上

【活動内容】

　目標「最後まであきらめない」　町内小学生対象63名、指導者７名。毎週火曜日17時から18時まで、ふるさとの広場グラウンドで走るための基礎練習を中心に繰り返し行い、良い走りを身につけるため道具などを使って楽しく練習を行っています。

【指導者から一言】

　子どもたちは、これから先大きく心も身体も成長します。その時、目標や仲間と楽しく走ったこと、走ることを通して学んだことを思い出して、自分の夢やたくさんのことに挑戦してほしいと願います。

【６年生から一言】

　めいわジュニア陸上では、主に１年生から３年生と４年生から６年生に分かれて練習を行います。走ることが苦手な人でも、みんなと楽しく元気に練習をすることによって好きになれます。ぜひ私たちと走りませんか。

広報委員会

委員長　本澤　春江
副委員長　島田　宏幸
委員　小野　光枝
三浦　次弘
荒井　信行
眞塩　香奈子

次回定例会（予定）　議会の生の声を聴いてください

３月３日（火）から　午前９時～
３月10日（火）まで　（一般質問は３月４日・５日）

詳しくは議会事務局へ　TEL 84-3111

発刊／明和町議会　〒370-0795　群馬県邑楽郡明和町新里250-1　TEL 0276-84-3111　FAX 0276-84-3114
編集／議会広報委員会

VEGETABLE OIL INK
環境にやさしいまちづくり。
「めいわ議会だより」は、再生紙・植物油インキを使用しています。